

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【公開番号】特開2013-13724(P2013-13724A)

【公開日】平成25年1月24日(2013.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2013-004

【出願番号】特願2012-144875(P2012-144875)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月19日(2015.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

磁気共鳴撮像(MRI)システム向けの傾斜コイル装置(304)であって、内側傾斜コイルアセンブリ(324)と、内側傾斜コイルアセンブリの周りに配置されかつ外側表面と第1の端部(344)及び第2の端部(346)とを有する外側傾斜コイルアセンブリ(326)と、外側傾斜コイルアセンブリの前記第1の端部(344)の外側表面の周りに配置させた第1の能動型力均衡化コイル(352、354)と、外側傾斜コイルアセンブリの前記第2の端部(346)の外側表面の周りに配置させた第2の能動型力均衡化コイル(352、354)と、を備え、
前記第1及び第2の能動型力均衡化コイル(352、354)がオーバーラップしない傾斜コイル装置(304)。

【請求項2】

磁気共鳴撮像(MRI)システム向けの傾斜コイル装置(404)であって、内側傾斜コイルアセンブリ(424)と、内側傾斜コイルアセンブリの周りに配置されかつ外側表面、第1の端部(444)及び第2の端部(446)を有する外側傾斜コイルアセンブリ(426)と、外側傾斜コイルアセンブリの第1の端部(444)の外側表面の周りに配置させた第1の受動型導体ストリップ(470)と、外側傾斜コイルアセンブリの第2の端部(446)の外側表面の周りに配置させた第2の受動型導体ストリップ(472)と、を備える傾斜コイル装置(404)。

【請求項3】

前記第1の受動型導体ストリップ(470)は、外側傾斜コイルアセンブリの第1の端部(444)に加わる半径方向力を相殺するように構成されている、請求項1または2に記載の傾斜コイル装置。

【請求項4】

前記第2の受動型導体ストリップ(472)は、外側傾斜コイルアセンブリの第2の端部(446)に加わる半径方向力を相殺するように構成されている、請求項1乃至3のい

いずれかに記載の傾斜コイル装置。

【請求項 5】

前記第1の受動型導体ストリップ(470)は、外側傾斜コイルアセンブリの第1の端部(444)上の高い漏れ磁場を有する箇所に位置決めされており、

前記第2の受動型導体ストリップ(472)は、外側傾斜コイルアセンブリの第2の端部(446)上の高い漏れ磁場を有する箇所に位置決めされている、請求項1乃至4のい
いずれかに記載の傾斜コイル装置。

【請求項 6】

前記第1の受動型導体ストリップ(470)の位置は、外側傾斜コイルアセンブリの第1の端部(444)上の力分布に基づいており、

前記第2の受動型導体ストリップ(472)の位置は、外側傾斜コイルアセンブリの第2の端部(446)上の力分布に基づいている、請求項1乃至5のい
いずれかに記載の装置。